

4) 寄付関係

4) - 1 巨大地震に対する中低層鉄骨造建築物の終局状態の評価法と損傷検知手法に関する研究 【安全・安心】

研究開発期間（平成 28～30 年度）

[担当者] 長谷川隆

本研究開発課題では、今後発生が懸念される巨大地震に対する中低層の鉄骨造建築物の梁端部の破断等と建築物の崩壊までの終局状態の評価方法を構築するために、実験的及び解析的な検討を行う。また、地震後に内外装材に覆われている建物の梁端部等に破断が生じているかどうかを推定するために、地震計等の観測記録を用いて鋼構造建築物の梁破断等を検知するための手法についても検討を行う。

この研究課題は、「過大入力地震に対する鋼構造建築物の終局状態の評価手法と損傷検知に関する研究（H28-30）」の一部を構成するものであり、成果は、この課題を参照されたい。